

講演会

ドイツ・ロマン派詩人 ハイネと技術革命

フォルクマー・ハンゼン

前デュッセルドルフ・ゲーテ博物館館長
デュッセルドルフ大学教授

Referent: Prof. Dr. Dr. h.c. mult. Volkmar HANSEN

Vortrag

und die technische Revolution

3. Juni 2013, 18:15

Universität Tokyo, Komaba Campus,
18. Bld., 4. Stock, Collaboration Room 1

2013年6月3日(月)
18時15分～

会場：東京大学 駒場キャンパス
18号館4階 コラボレーションルーム 1

日本ではローレライの歌詞や『歌の本』で知られるロマン派の詩人ハインリッヒ・ハイネ (1797-1846) は、辛口の政治批判を得意とするジャーナリストでもあった。それゆえ彼はドイツ当局に睨まれ、パリに移住を余儀なくされ、そこで生涯を閉じた。このハイネこそ、二足の草鞋を履くことなく、文筆家として生計を立てることができた最初のドイツ詩人と

言えるだろう。

本講演では、詩人ハイネと19世紀ヨーロッパにおける科学技術との関わりを、蒸気機関車や蒸気船、ガス灯、ピアノ、鋳板写真などの例を挙げながら、ハイネの故郷デュッセルドルフ大学のドイツ文学研究者でもあるハンゼン氏にお話しいただく。

Veranstalter: Das JSPS-Forschungsprojekt
„Wissen und Imagination. Literatur und Kunst in
deutschsprachigen Kulturkontexten um 1900“

主催：日本学術振興会科学研究費助成事業・基盤研究 (B)
「科学の知と文学・芸術の想像力—ドイツ語圏世紀転換期
の文化についての総合的研究」(研究代表者：巖治哲郎)

対象：教員・大学院生・学生はもちろん、
一般の方も歓迎致します。

講演使用言語はドイツ語ですが、Power Point を使った
日本語同時翻訳がつきます。

(翻訳担当：石原あすか)

ドイツ語の予備知識がなくてもご関心のある方は、ぜひご参加下さい。

問い合わせ先：東京大学 大学院総合文化研究科 巖治研究室

〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1 E-mail: wissen@phiz.c.u-tokyo.ac.jp URL: <http://phiz.c.u-tokyo.ac.jp/~wissen/>